

# 福祉公社通信

# 羅針盤

この通信により、広く市民の皆様に、公益財団法人として、また、全国初の行政関与型在宅サービス提供機関としての福祉公社の今をお伝えします。表題の羅針盤はご利用者の生活を包括的に支援し、その人生行路を共に歩む、昭和55年創業時からの福祉公社のサービス基本姿勢を表したものです。

発行日 平成25年7月10日【第4号（月刊）】

東京都武蔵野市吉祥寺北町1-9-1

編集・発行 公益財団法人 武蔵野市福祉公社

TEL:0422-23-1165 FAX:0422-23-1164

夏木陰に、ひと時の清涼を得てホッと一息つく今日この頃、皆様には、お健やかに過ごしのことと存じます。

本号ではホームヘルプセンター武蔵野を特集してご紹介します。

福祉公社は、在宅福祉サービスを様々な展開していますが、総合的なサービス提供機関として、各事業で習得したノウハウを有機的に結びつけ、より良いサービスを目指しています。

<紙面から>

特集：ホームヘルプセンター  
武蔵野

・・・P.1~P.3

お知らせ・・・P.4

## 特集：ホームヘルプセンター武蔵野

福祉公社は、介護保険実施前の措置の時代に市からの受託によりヘルパーを養成・組織し、公的な介護サービスを提供してきました。その後、これを平成9年に「ホームヘルプセンター武蔵野」として再編し現在に至ります。ここではヘルパーの養成講座、市内の各事業所を対象にした幅広い研修、訪問介護事業などを実施し、市の介護サービスを下支えしています。

・・・提供サービス・・・

★介護保険法に基づく

「訪問介護サービス事業」

「介護予防訪問介護サービス」

★障害者総合支援法に基づく

「居宅介護サービス事業」

★市の独自事業である

「日常生活支援事業」

「認知症高齢者見守り支援事業」

スタッフです!



課長・係長・事務職員の他、サービス提供責任者13名は全員介護福祉士です

サービス提供責任者：

介護保険制度上の名称

別名：コーディネーター

今回は、担当係長とサービス提供責任者（コーディネーター）2名に同センター事業の実際を聞きました。

## 《ホームヘルプセンター武蔵野の特徴》

小芝：始めに、ホームヘルプセンター武蔵野の特徴を教えてください。

高橋：当センターの特徴の一つは、まずヘルパー登録が 111 名の大所帯で 9 割が市民の方であること。次に武蔵野市内全域をカバーし、多くの課題のある利用者も受けることです。武蔵野市独自の事業である「日常生活支援事業」「認知症高齢者見守り支援事業」の実施機関であることも特徴の一つですね。

## 《サービス提供責任者とコーディネーターの名称》

小芝：事務所内に勤務するサービス提供責任者は 13 名とのことですが、どのようなお仕事をされているのですか？

三木：ケアマネジャーから依頼されたケアプランに基づいてサービス内容を細かく決めて、ヘルパーを手配し、内容を伝えます。私たち自身はコーディネーターと呼んでいます。毎日多くのヘルパーとやり取りしています。

## 《より良いサービスのために — 情報の共有化》

小芝：それだけ多くのヘルパーさんがいると、ご利用者の情報やサービス提供の方法の共有が難しいと思うのですが、どのようにしているのですか。

高橋：「ケア会議」を 1 ヶ月に 10 回程度開催しています。ご利用者について、ヘルパーとコーディネーター、さらにはヘルパー同士が情報を共有し、現状の見極めと課題を明確にするためのものです。

三木：一人のご利用者にかかわるヘルパーはケアの内容により異なりますが、1～8 人です。そのヘルパー全員が集まり、書類の上だけでなく顔を合わせて情報を共有することで、毎回ご利用者に喜ばれる質の高いケアをどのヘルパーも提供できると考えています。そのために「ケア会議」は欠かせません。

河野：情報の共有ということに関して言えば、「ご利用者について、いつでも、どんな小さなことでも、コーディネーターに連絡してくださいね。」とヘルパーには常々伝えていきます。ご利用者の様子を聞くことはもちろん、現場では予定通りに行かないことも多いので、ヘルパーが迷ったとき、悩んだときにフォローするのもコーディネーターの重要な役割だと思っています。

小芝：コーディネーターとヘルパーさんの綿密なコミュニケーションが、質の高いケアにつながっているんですね。河野さんがコーディネーターとして、一番喜びを感じるのはどんな時ですか？

## 《コーディネーターとしての喜び》

河野：現場のヘルパーから「ご利用者の様子がいつもと違う」とか「新たにこういう生活課題が出てきたようだ」という情報が入り、それをケアマネジャーに伝えることで適切な対応がなされ、ご利用者の生活が良い方向に向かった時ですね。うまく連携が取れるとコーディネーターとしてとてもやりがいを感じます。でも、それもヘルパーの観察力があってこそです。感謝、感謝です。うちのヘルパーは皆本当に熱心で、気付きや情報を沢山返してくれます。

小芝：センター内だけでなく、ご利用者を取り巻く様々な立場の人たちとの連携も大切なのですね。

## ホームヘルプセンター武蔵野

目標 1 ケア会議でサービス向上  
月 2 回、各コーディネーターが開催する。  
ヘルパーとのコミュニケーションアップ  
を目指すと共にヘルパーが悩みを一人で抱  
え込まないようにする仕組みのひとつ。

ホームヘルプセンター武蔵野  
目標 2 元気よく支えよう！



右 たかはしやうこ 高橋洋子 = 係長

在宅サービス課ソーシャルワーカー、在宅介護支援センター、地域包括支援センターを経て 25 年 4 月から現職。

左から

こうのゆうこ 河野裕子 = 円熟のスキルと感性のサービス提供責任者

みきあけみ 三木明美 = デイサービスを経て平成 22 年からサービス提供責任者、諸先輩の指導のもと感謝と研鑽の日々

こしばよしな 小芝淑恵 (聞き手) = 高齢者総合センターデイサービス

### 《公益財団法人としての役割》

小芝：ヘルパーさんに熱心に仕事に取り組んでもらうために、何か工夫していることはありますか。

高橋：研修を毎月行っています。内容は、武蔵野市の制度や法律のことから、健康や医療、介護技術に関することまで、現場でヘルパーが使えることは何でもテーマにします。事業所内での研修を月1回、他の事業所に所属するヘルパーも参加できる研修を月1回、月に計2回の研修を行っています。公益財団法人として、武蔵野市全体の在宅介護サービスのレベルアップに寄与したいと考え、広く呼び掛けていますし、それが使命と考えています。

### 《具体的研修》

小芝：具体的にはどのようなテーマの研修があるのですか。

三木：事業所内の研修では「コミュニケーション技術」「記録の書き方」、外部向けの研修では「武蔵野市の介護保険制度」「持ち上げない介護」のようなテーマを取り上げてきました。

小芝：日々の業務以外に月に2回研修を準備して実施するのはとても大変だと思うのですが…。

三木：大変ですよ（笑）。でも、それがヘルパーの為になり、ケアの向上につながっていると感じられるので、これからも続けていきたいですね。

### 《熟練の援助・・・調理の例》

小芝：実際の現場では、限られた時間の中でどのようにケアを実施しているのですか。

三木：ケアマネジャーから依頼されたケアの何にどれくらいの時間が必要かを分刻みで計画し、手順書を作ります。その手順書に添ってケアを行うというのが大前提ですね。

河野：手順書の通りにケアを行うために、皆いろいろと工夫しています。例えば調理では、冷蔵庫を開けて食材を見たら、まず最初に思い浮かぶものをすぐに作り始めます。そして、作りながら次の料理のことを考える。最初に全品考えると、それだけで5分位すぐに経過します。その5分の間に1品作る。そうした工夫をすることで、調理の準備から後片付けまでを短い時間に納めています。うちには短時間でとても美味しい料理を作れるヘルパーがたくさんいますよ。今日はその一部をご紹介します。

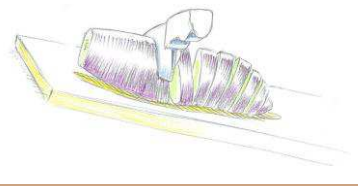
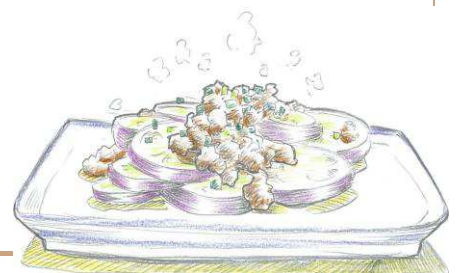
## ヘルパー直伝！簡単料理 ～茄子の味噌とほろのせ～

<材料> \*調味料はお好みによって調整してください。

豚ひき肉・・・ 50gくらい 茄子・・・・・・ 2本  
小ねぎなど・・・少 味噌・・・・・・大さじ1/2  
酒・・・・・・大さじ1 砂糖・・・・・・お好みの量で

- ① 茄子は8mmくらいの斜め輪切りにする。
- ② 味噌、酒、砂糖を合わせておく。
- ③ フライパンに油をひいて茄子を焼き、取り出しておく。
- ④ ③のフライパンで豚ひき肉を炒めポロポロになったら、合わせておいた調味料を入れ茄子の上にかける。
- ⑤ 緑のもの（小ねぎなど）を散らして完成！

（パスタ、冷やっこなど応用自在）



イラスト：後藤 章  
（センター所属 フレックスヘルパー）

小芝：次に市の独自事業である「日常生活支援事業」と「認知症高齢者見守り支援事業」についても教えてください。

### 《武蔵野市の単独事業》

高橋：「日常生活支援事業」とは、日常生活を営むのに支障があるが介護保険に該当しない高齢者の自立した生活を支援する事業です。怪我や骨折などが治癒するまでの一時的な生活支援や要介護状態となることの予防などを目的としています。「認知症高齢者見守り支援事業」は、認知症高齢者に対して、ヘルパーによる見守り、話し相手、散歩の付き添いなど介護保険では対応できないサービスを提供します。いずれのサービスも、在宅介護支援センターが窓口になっています。詳細は、各地域の支援センターへお問い合わせ下さい。

小芝：武蔵野市は介護保険では対応できない部分のサポートがあって素晴らしいですね。

では最後に、今後のセンターの方向性について聞かせて下さい。

高橋：今まで培ってきたノウハウを生かしながら、常にサービスの質の向上を目指していきたいですね。

現在サービスを利用して下さっている方々に、より良いサービスの提供を目指すことはもちろん、新しくサービスを利用される方にも選んでいただけるセンターでありたいと思っています。

そして、武蔵野市の訪問介護サービスをしっかりと下支えし、全体のサービスの質を向上させるためにも、研修事業を充実させて行こうと思っています。

小芝：頼もしいお言葉です。今日はありがとうございました。

## 公社からのお知らせ

### 高齢者総合センター・デイサービスセンター プログラム ボランティア募集

デイサービスセンターでは、プログラムをお手伝いして下さるボランティアを募集しています。

プログラム：月曜日午後ペン習字 水曜日午後絵手紙  
時間：13時～15時30分

申込み・問合せ：デイサービスセンター（51-2933）  
他の曜日にも募集しています。宜しくお願い致します。

次号は平成25年8月10日発行予定です。

### おいじたく講座

～ 尊厳ある老後生活構築の一助に ～

日時 平成25年7月25日（木）

13時30分から15時

場所 福祉公社1階会議室

テーマ おいじたくの基礎知識

申込み・問合せ 在宅サービス課後見係（23-1165）

### 高齢者総合センター 配食ボランティア募集

在宅で生活を送る高齢者へ昼食を配達します。

ささえあいの地域社会を作るため、地域住民の皆様にお願ひしています。1回で1～5食程度、時間は30分程度です。詳細は下記までお問い合わせください。

申込み・問合せ：デイサービスセンター（51-2933）



### 武蔵野市福祉公社・ホームヘルプセンター武蔵野

東京都武蔵野市吉祥寺北町1-9-1

☎0422-23-1165（総務課、在宅サービス課）

☎0422-23-2611（ホームヘルプセンター武蔵野）

### 武蔵野市立高齢者総合センター

東京都武蔵野市緑町2-4-1

☎0422-51-1975（管理・社会活動センター）

☎0422-51-1974（在宅介護支援・補助器具センター）

☎0422-51-2933（デイサービスセンター）

### 武蔵野市立北町高齢者センター

東京都武蔵野市吉祥寺北町4-1-16

☎0422-54-5300

業務時間 8:30～17:15（全て共通）

福祉公社ホームページ

URL <http://www.fukushikosha.jp/>